

とだ 議会だより

No.206

9 2019年
月定例会

発行：2019年11月1日



平成30年度決算を認定

31億8877万円を令和元年度に繰り越し!

▶ 2

そこがききたい 18人の議員が一般質問

▶ 8

政務活動費 領収書を公開

▶ 17



水道事業会計決算	
収益的収入	24億1751万円
収益的支出	22億1007万円
資本的収入	3億4999万円
資本的支出	13億7169万円

下水道事業会計決算	
収益的収入	26億4713万円
収益的支出	24億4514万円
資本的収入	11億1303万円
資本的支出	18億1011万円

※いずれの会計も千円単位は四捨五入

平成30年度決算監査報告 **「全ての会計で健全財政を堅持」**

小川代表監査委員

【一般会計・特別会計】一般会計の実質収支額は、約24億2千万円の黒字。市税は軽自動車税、市たばこ税が前年度と比べて増となった。特別会計の実質収支額は、約6億3700万円の黒字。

【水道事業会計】収益的収支の純利益は約2億200万円、資本的収支の不足額は約10億2千万円であり、損益勘定留保資金、減債積立金などで補てんされている。

【下水道事業会計】収益的収支の純利益は約2億200万円、資本的収支の不足額は約6億9700万円であり、損益勘定留保資金などで補てんされている。企業債の未償還残高は約87億円、支払利息は約1億6千万円で、総費用に占める割合が6.5%、使用料収入に対する割合が11.6%となっている。

【審査の結果】いずれも健全財政が堅持されている。

討論

◇30年度一般会計決算 認定(賛成20 反対4)

反対 豊かな財政は市民の暮らしに

本田 哲 議員

中国・開封市への海外派遣旅費は、執行部も予算計上しており、そこに議員も参加できたことから、議会費での計上は不要であった。

市民意識調査では、保養所・白田の湯の設問が、廃止を誘導しており、調査の在り方に問題がある。

指定管理者制度を導入した介護老人保健施設は、サービスが向上していない。直営に戻すべき。

立地適正化計画の策定は拙速。住民主役のまちづくりを行うべき。

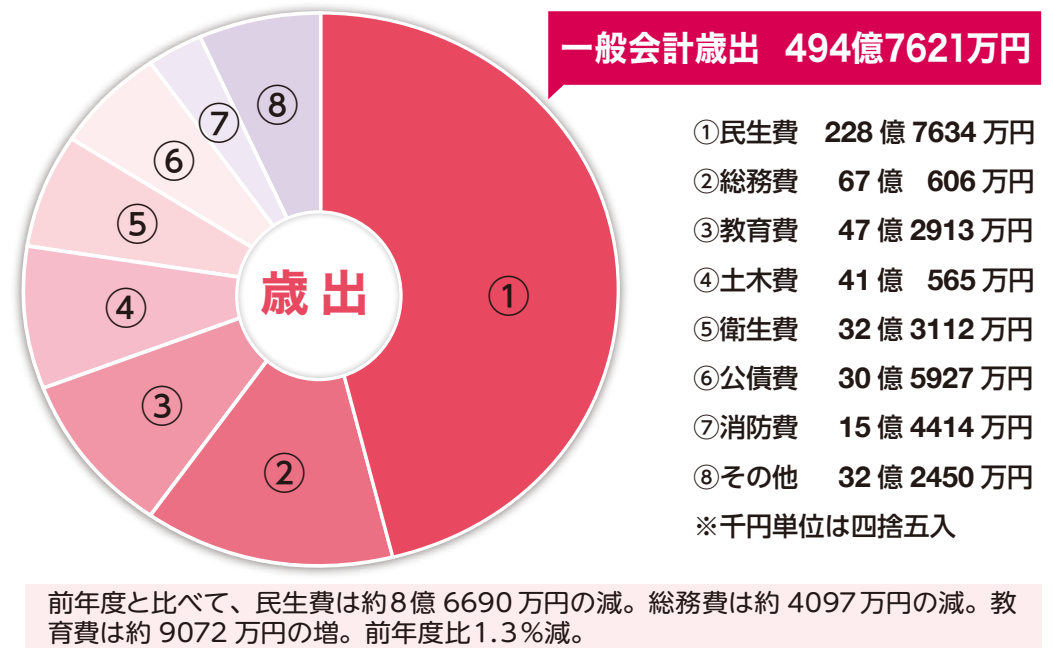
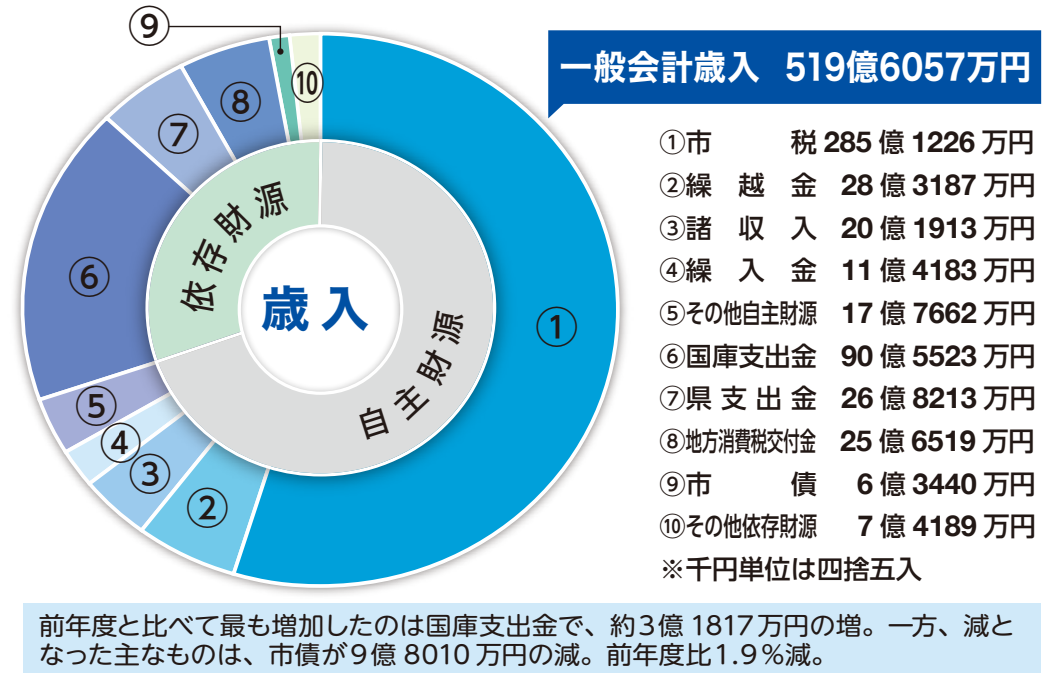
図書館の大規模改修工事に伴い、非常勤職員が削減されたが、労働環境を保障し、市民サービスに配慮られる施設環境を維持すべき。

西部、東部の両福祉センターの使用料について、廃止された施設登録団体の減免制度を復活すべき。

豊かな財政が市民の暮らしに生かされるよう要望し、反対する。

9月定例会は8月26日から9月26日までの32日間の会期で開かれ、市長提出議案等40件と、委員会提出議案2件、議員提出議案3件が提出され、1件が撤回、その他はいずれも認定・可決しました。また、3議案に対し延べ5人が質疑し、決算認定3件、議案1件について延べ8人が討論を行いました。

4日間にわたる一般質問では、18人の議員が活発な論戦を展開しました。



30年度健全化判断比率

比率名	30年度	29年度
実質赤字比率	— (11.80)	— (11.86)
連結実質赤字比率	— (16.80)	— (16.86)
実質公債費比率	5.0 (25.0)	4.3 (25.0)
将来負担比率	18.7 (350.0)	30.9 (350.0)

(注) ①() は財政の健全化が必要とされる早期健全化基準を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」表示となります。

特別会計決算

歳入	216億6704万円 (前年度比 15.9%減)
歳出	209億6263万円 (前年度比 13.2%減)

※千円単位は四捨五入

(注)特別会計は、国民健康保険など10会計の合計額。
中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計、介護老人保健施設事業特別会計は平成29年度をもって廃止。

※健全化判断比率…自治体の財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために定められた4つの指標

令和元年
9月定例会
8月26日～
9月26日

一般会計・特別会計合わせて31億8877万円を令和元年度に繰り越し！

平成30年度決算を認定

◆30年度国民健康保険特別会計決算

反対

認定(賛成20 反対4)
法定外繰り入れは減らす
べきでない

むとう 葉子 議員

平成30年度より、国保は都道府県が財政運営の責任主体となった。平成29年度に約17億2千万円あった一般会計からの法定外繰り入れは、約2億5千万円となり、市の負担は大幅に減少したが、国保税は大幅に引き上げられた。国の言うままに法定外繰り入れを減らすべきではなく、反対する。

賛成

被保険者の協力のもと、
税率改正を円滑に実施

佐藤 太信 議員

本市は、平成23年度以降、税率を据え置き、法定外繰り入れにより国保を維持してきたが、税の公平性の問題があり、繰入額が20億円に迫るなど財政の重荷となっていた。市も段階的な削減方針のもと、引き続き法定外繰り入れを実施している。税率改正は被保険者の協力のもと、円滑に実施されており、決算は妥当である。

◆30年度介護保険特別会計決算

反対

認定(賛成20 反対4)
介護保険料を上げるべき
ではなかった

むとう 葉子 議員

平成30年度の改定により、介護保険料の基準額は値上げとなった。介護保険給付費準備基金への積み立てが順調に行われたことを考えれば、介護保険料は引き下げられたと考える。まだ要介護にならない人や要介護になった人の生活を守るためにも、介護保険料は上げるべきではなかったことから、反対する。

賛成

介護給付費の上昇を適切に
判断している

佐藤 太信 議員

介護保険料は、高齢者人口の増加に伴う介護給付費等の増加を想定して決定している。介護保険給付費準備基金は、取り崩しを見込んで積算しており、介護保険料の上昇を最小限に抑えている。今後の介護給付費の上昇を適切に判断した積算をはじめ、制度改正への適正な対応を行った事業計画に基づいた決算であり、賛成する。

主な議案の質疑

◆図書館運営協議会の設置(条例改正)

Q 図書館運営協議会の公募市民に期待することは。

A 図書館をより身近に感じ、多くの市民が気軽に利用できる施設となるよう利用者目線で率直な意見等をいただきたい。

◆一般会計補正予算

「広報戸田市」制作業務

134万2千円

Q 広報戸田市をリニューアルするに至った経緯は。紙面の内容は。

A 近年、行政情報が質、量ともに増加し、SNSやtocoぷりなど、情報発信ツールが多様化している。そこで、より見やすくなりやすい、手にとって見てもらえる広報紙を目指し、全面的なりリニューアルを実施する。他市の事例を参考にするとともに、専門業者のノウハウを最大限に活用して、魅力的な紙面づくりを行う



▲改修が予定されている市役所庁舎2階の床面

市役所庁舎の修繕

2152万7千円

Q 庁舎1階、2階の修繕の実施内容と実施期間は。

A 庁舎1階、2階の通路床面は、タイル張りで凹凸があり、車いすやベビーカーが通行しづらく、高齢者や障害者がつまずきやすいため、フラットにする。実施期間は、12月から2月までを予定。

討論

◆国民健康保険税課税限度額の引き上げ(条例改正)

原案可決(賛成20 反対4)

反対

国庫負担を増額すべき

花井 伸子 議員

国保税課税限度額は、10年間で30万円も上がり、96万円にもなった。本市はこれまで保険加入者の負担を考え、引き上げに配慮してきたが、広域化により国に合わせるようかじを切った。国に合わせる必要はなく、これ以上の引き上げはすべきでない。国庫負担を増額し、課税限度額の引き上げは行わないよう求め、反対する。

賛成

低所得者に配慮されている

佐藤 太信 議員

低所得者の軽減拡充は、今年度実施済みである。課税限度額の引き上げは、被保険者間の保険税負担の公平性の確保を目的とし、低所得者に配慮するものである。総合的に見て、被保険者への配慮を行いつつ、条例改正を行う市の判断は、妥当であり、賛成する。

意見書

意見書(委員会提出・議員提出)を国・政府に提出

◆羽田空港の機能強化に向けた熟考と万全の対策を求める意見書

政府が進める羽田空港の機能強化に伴い、新たな飛行経路が示された。政府は、これまでも市内での住民説明会の開催や情報発信拠点の設置を行ってきたが、騒音や、落下物の危険に対する不安は払拭されていない。よって、新たな飛行経路について、飛行高度や旋回角度、降下角などあらゆる面について熟考を重ねることなど、5点を強く要望する。

◆適正な法制執務を行うことを求める意見書

内閣府令に多数の誤りがあつたことから、これを基準として条例改正等を行った地方自治体は、議案の撤回など事務執行に支障を来すこととなった。よって、法制執務上の誤りが多数発生した原因を徹底究明し、信頼回復に努めることなど、3点を強く要望する。

◆高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

自動ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置などを搭載した安全運転サポート車の普及等を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討することなど、3点を求める。

◆太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書

事業終了後、発電設備の適正な処分が行われるよう、発電事業者による廃棄費用の積み立ての仕組みや、太陽光パネルのリサイクルの仕組みの確立に向けた取り組みを進めることなど、3点を求める。

◆加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書

補聴器の普及は、認知症の予防、健康寿命の延伸などにつながる。加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度を創設することとを求める。



▲庁舎内のレイアウト変更工事が行われる東部分署

委員会の審査から

こんな質問がありました。

議案や決算、請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。
その経過と結果について、9月26日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

総務

政策秘書室・危機管理防災課・総務部・財務部・
会計課・消防・行政委員会事務局等

平和を次世代へつなぐ取り組みの研究を

委員 新曽南庁舎のブラックアウト対策は。

執行部 自家発電機を設置しており、電力会社からの供給が途絶えても、8時間はシステムが稼働でき、燃料を継ぎ足せば時間を延ばすこともできる。

委員 コンビニエンスストアのAEDの設置状況は。

執行部 市内全60店舗に設置している。

委員 昨年度の土のうの活用実績は。

執行部 1647袋の土のうが活用された。

委員 非核・平和事業の参加人数は。

執行部 すいとんづくりは親子12組合計32人、映画上映会および講演は36人の参加があった。

委員 平和を次世代につないでいく良い取り組みなので、もっと多くの人が参加していただけるよう研究してもらいたい。



▲すいとんづくりの様子

文教・建設

都市整備部
教育委員会

駅周辺に都市機能を誘導する 立地適正化計画による影響は

委員 立地適正化計画で駅周辺に都市機能を誘導すること、市内の他の地域や高齢者の利便性が阻害されるといった影響はないか。

執行部 駅周辺は今ある施設を維持し、さらなる利便性を目指すために都市機能を誘導する計画としている。他市町村の計画とは違い、影響がないよう考慮している。

委員 不登校児への対応状況は。

執行部 不登校対策を行っている民間事業者からのアウトリーチにより、定期的に登校できるようになるなどの効果が上がってきている。

委員 図書の貸出率を活用した選書や、ホームページでの新着図書案内を実施できないか。

執行部 貸出率は、個別ではなく分類ごとに把握している。新着図書は、案内を毎月作成し、配布しているほか、ホームページで供用開始時期などからの検索により、利用いただいている。



▶居住機能や都市機能の適正な誘導を図る「戸田市立地適正化計画」

健康福祉

福祉部・こども青少年部・
福祉事務所・市民医療センター

上戸田地域交流センターにおける バリアフリーの検討を

委員 介護老人保健施設の指定管理者による運営に対する市の関わり方は。

執行部 四半期ごとに職員の勤務体制をモニタリングしており、引き続き職員との定着に向けて市も指定管理者と一緒に取り組んでいきたい。

委員 保育士の処遇は。

執行部 とだの保育創造プロジェクト会議において協議の場を設け、保育士および保育園の悩みや質問を受けているほか、さまざまな研修会の案内をしている。



▲上戸田地域交流センター第1駐車場

市民生活

市民生活部・環境経済部
上下水道部

to c o バスの利用者数増加の要因は

委員 to c o バスの利用者数が29年度と比較して約6700人増加した要因は。

執行部 人口増加のほか、ここ数年は運行ルートや時刻表を固定しており、その有用性が利用者に認識されてきたと考えられる。

委員 川岸地内環境空間の整備状況は。

執行部 環境空間（戸田1）に関して、29年度に地域住民を交えたワークショップを開催し、30年度までに設計作業を行った。今年度中には市民の意見も反映した公園が完成する予定。

委員 町会・自治会が設置した防犯カメラに対して、5年間の維持管理を条件に市が補助金を出しているが、6年目以降の扱いは。

執行部 補助の条件である5年間の経過した後のカメラの扱いについては今後、さまざまな意見を聞きながら検討していく。



▲利用者が年々増加している toco バス



上下水道部長 浄水場を含めた水

議員 高度経済成長期を中心に急速に整備されてきた水道施設の多くが、耐用年数を迎え老朽化している。今後の浄水場等、統廃合を踏まえて調査すべきと思うが。

浄水場含めた水道施設対策は

議員 庁舎敷地で普段不足しがちな駐車スペースとして、スロープや花壇など解体を検討してみてもは。財務部長 駐車場、イベントスペースの確保など、利便性向上を目指し全体的な見直しを検討する。

庁舎敷地

A 全体的な見直しを検討する

Q 駐車スペースとしてスロープなど解体を



ほそだ まさのり 細田 昌孝 議員

道施設は、設置から長い年数が経過している。水の供給体制をどのようにすべきか研究する。

防災行政無線の音達調査を

議員 到達性が優れている280メガヘルツを活用してみてもは。危機管理監 音達調査を実施し、今後研究する。

利用者の安心安全な対応策を

議員 彩湖・道満グリーンパークでは、行楽シーズン等、トイレ渋滞が発生する。トイレの増設はできないか。また、競技用自転車に対して注意喚起すべきと思うが。環境経済部長 状況に応じて仮設トイレを設置する。また、走行マナー啓発の継続や速度抑制を国に要望する。

一般質問

令和元年9月4日 撮影

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、18人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



そこがききたい

一般質問

防災・減災対策

A 関係部局と連携し調査研究を図る

Q マイタイムライン(防災行動計画)の推進を

みうら よしかず 三浦 芳一 議員



議員 西日本豪雨を受け5段階の大雨警戒レベルを発表。安全な間に避難することが大事。家族構成や生活環境に合わせて「いつ」「誰が」「何をするか」を時系列で整理したマイタイムラインの推進を。危機管理監 自助・共助意識の向上に役立つもので、関係部局と連携し調査研究を図る。

田辺三菱製薬の跡地問題は

議員 避難所に行けない場合、近くの安全な場所です町会・自治会が指定した「緊急一時避難場所」を住民は認知不足。周知徹底を。危機管理監 水害避難訓練の実施に合わせ、「緊急一時避難場所」が記載されたパンフレットを配布し、さらなる周知・浸透を図る。

議員 要支援者対策として、災害時ケアプラン(個別支援計画)の策定推進を図るべき。特に福祉部

市民サービス

A 円滑な案内ができるよう努める

Q 遺族への負担軽減に窓口のワンストップを

てづか しずえ 手塚 静枝 議員



議員 「死亡」に関する手続きを行う際の申請者の負担は大である。遺族への負担軽減には、窓口のワンストップ化が必要である。国も手続きを電子化し、ワンストップができないか検討を始めた。本市も、相談等を含め、各種手続きの窓口を一元化した取り組みを、早期に実施してはどうか。

総務部長 システム連携によりワンストップで対応できていると考える。国の動向を注視し、円滑な案内ができるように努めていく。

議員 遺族に寄り添う市民サービスの向上と、申請一覧の配布、容易なパンフレット作成を要望する。

道満金魚釣りの改善を

議員 ①釣れない子への持ち帰りはできないか②利用料の見直しを



▲大分県別府市の「おくやみコーナー」受付窓口



▲洪水を想定した水害避難訓練での高所避難の様子



◀地下250メートルから地下水をくみ上げて作られる「戸田の水来」

議員 ①上下水道部門は、技術的継承と人材育成が課題。専門職としての採用を②水道管路の耐震化が進まない理由は③ディスポーザー設置後、維持管理に対する指導は④採算が取れていない戸田市の水「戸田の水来」の見直しを。

上下水道部長 ①専門職の採用は、知識・技術の継承、災害・危機管理対応においてメリットがある。今後の研究課題とする②水道管路を耐震化するまでに数十年かかる。財政的・人材的要因により遅れが生じている③維持管理によって

灯が傾き、区の予算で緊急点検を実施した。市内街路灯も設置してから数十年経過している。市として点検を実施してほしい。

環境経済部長 市では個別点検を行っている。他市の状況を研究し、安全面について対応していく。

議員 商店街の街路灯は、商店街の商業振興を目的に設置されてきた。しかし、管理団体である商店会の中には、商店の減少、後継者不足などから商店会活動が低調になり、街路灯の維持管理が低調になってきている。市として、どのように考えているか。

環境経済部長 アンケートにより管理団体と認識を共有し、中長期的な計画を把握していく。

議員 財政的に厳しい管理団体へ、撤去に対する補助金を要望する。

一般質問

議員 新曽第1・第2土地区画整理地内及び新幹線・埼京線環境空



※ディスポーザー……キッチンシンクの排水溝の下に設置され、生ごみをミキサーのように粉碎して水とともに排水管に流し出す生ごみ処理機。

上下水道

A

財政的・人材的要因にある

Q

水道管路の耐震化が進まない理由は



佐藤 太信 議員

環境負荷へ影響がある。定期的に水質検査を実施する④市民・企業の皆様の意見をもとに改良を重ねていく。

特定健診受診制度の見直しを

議員 ①健診期間の延長を②情報量が多く、内容が見づらいため、受診案内パンフレットの見直しを③不要な架電を減らすため業務の見直しを④キャラクター「はらまわりん」を利用した早期受診キャンペーンの効果検証、見直しを。

福祉部長 ①アンケート結果は健診期間延長の要望が出ており、受診しやすい環境整備を進める②情報伝わりやすい内容にする③架電対象条件等を見直す④効果検証はしていない。近隣市の取り組み等を参考にして事業を見直す。

診期間延長の要望が出ており、受診しやすい環境整備を進める②情報伝わりやすい内容にする③架電対象条件等を見直す④効果検証はしていない。近隣市の取り組み等を参考にして事業を見直す。

街路灯

A

中長期計画を把握していく

Q

維持管理が厳しい。市の対応は



馬場 栄一郎 議員

議員 街路灯のフラッグ掲出用ボールの活用で広告収入を得られるよう、川崎市では市のホームページで案内を行っている。本市としても取り組んではいかがか。

環境経済部長 川崎市や他自治体の事例を調査したい。

議員 環境問題や維持費の観点から、LED化促進のための改修工事やLED電気料への補助率の引き上げはできないか。

環境経済部長 他市の状況等を踏まえ調査研究したい。

議員 足立区で昨年、台風で街路



◀市内に設置されている街路灯

灯が傾き、区の予算で緊急点検を実施した。市内街路灯も設置してから数十年経過している。市として点検を実施してほしい。

環境経済部長 市では個別点検を行っている。他市の状況を研究し、安全面について対応していく。

議員 商店街の街路灯は、商店街の商業振興を目的に設置されてきた。しかし、管理団体である商店会の中には、商店の減少、後継者不足などから商店会活動が低調になり、街路灯の維持管理が低調になってきている。市として、どのように考えているか。

環境経済部長 アンケートにより管理団体と認識を共有し、中長期的な計画を把握していく。

議員 財政的に厳しい管理団体へ、撤去に対する補助金を要望する。

一般質問

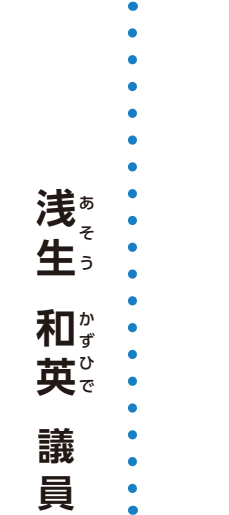
戸田橋花火

A

より一層の工夫を凝らしていく

Q

市民が満足してくれる花火大会を



浅生 和英 議員

議員 変更が幾つかあり、市民からの意見がさまざまあった。今後も市民が満足してくれる花火大会を願う①変更点は②その効果は③来年以降の開催については。

環境経済部長 ①安全を保つため、打ち上げ現場の東西を有料席と一般自由席に分けた。昨年までは有料席と自由席が混在し、自由席へ来場者が際限なく向かい、緊急車両の通行がままならないほど混雑が著しい状況だった②来場者の安全確保が図れたことは良かった③東京五輪に伴い、来年は5月23日の土曜日に開催する。課題等の検証も進め、周知も行い、より一層の工夫を凝らしていく。

議員 決して制度を否定するもの

ふるさと納税の増収策は

決して制度を否定するもの

	税額控除額※ (収入減)	寄附金受入額 (収入増)
平成28年度	約8,000万円	1,256万円
平成29年度	約1億5千万円	2,856万円
平成30年度	約2億1千万円	2,248万9千円
令和元年度 (平成31年度)	約2億7千万円	280万円 (7月まで)

※課税年度の前年1月～12月に戸田市民が他自治体へ寄附したことに伴う個人市民税の税額控除額

ではないが、ふるさと納税に係る税額控除額が年々増える(本市の税収入が減り続けている)一方、ふるさと納税寄附額が年々減っている状況である。このまま税収減が続けば、行政運営に影響が出る懸念がある。市の見解を伺う。

環境経済部長 本市ならではの素敵な商品や魅力ある場所が多くある。引き続き市内産品を紹介し、イベントや施設利用などの体験型返礼品の検討を全庁的に取り組み、ふるさと納税による市内外に向けたPRの充実を図っていく。

◀ふるさと納税に係る金額の推移

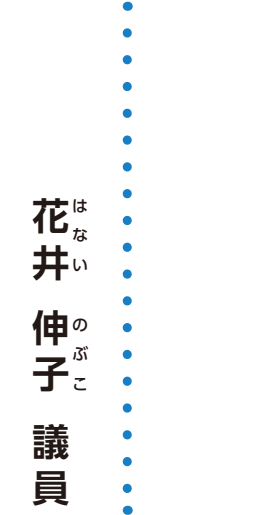
国民健康保険税

A

市国保での対策には限界がある

Q

来年度の税引き下げは



花井 伸子 議員

議員 2018年度は国保税が大幅に引き上げられ、加入者から「高過ぎる、引き下げて」との声が上がっている。戸田市国民健康保険運営協議会での値上げ後の検証と、来年度の保険税の引き下げについては。

福祉部長 法定外繰入金は大きく減少したが、税の水準は県内中位である。来年度以降は課税限度額を法定額に合わせることで、決定していない。市国保での対策には限界があるので、国県にさらなる財政投入を要望する。

「無理なく払える保険税」へ引き下げるよう、強く求める。

公共空き地の草刈り回数増を

議員 新曽第1・第2土地区画整理地内及び新幹線・埼京線環境空

間の草が伸び過ぎて不衛生。道路交通上も見通しが悪く危険である。草刈りの回数を増やすべき。

都市整備部長 土地区画整理事業地内の管理地の除草は、委託により例年3回実施しているほか、職員が巡回し、適宜除草を実施している。住民からの相談には、現地を確認し、必要に応じ対応する。

環境経済部長 新幹線・埼京線の環境空間については、JRが所管しており、毎年3回草刈りを行っている。草刈りの回数の検討も含めて対応するようにJRに要望する。

羽田空港



十川 拓也 議員

飛行経路の見直しの現状は

A 国際線を1日50便程度、増便

議員 羽田空港飛行経路の見直しの現状は。騒音、落下物の影響、住民説明はどうなっているか。

市民生活部長 新経路は、南風時の15時から19時の間、国際線を1日50便程度増便。好天時は美女木や笹目地区を1時間当たり14便程度、悪天時は上戸田、新曽、笹目地区を30便程度が通過予定。騒音は68デシベル程度、現状の戸田市役所付近住宅街でのトラック通過レベルである。騒音対策では新料金体系を導入、騒音低減や測定局

を設置し結果の公開を予定。落下物対策では設計・製造・整備の徹底を働きかける。情報は市ホームページ、SNS、広報紙で発信。

「EdTech」リーディングスキル」取り組みの現状は

議員 戸田市が進めている教育とテクノロジを組み合わせた新たな学び「EdTech」と、汎用的な基礎的読解力「リーディングスキル」の取り組みの現状は。

教育部長 EdTechでは、AI搭載ドリル教材等による最適化学習、遠隔教育等を推進。リーディングスキルでは、市内小6から中3までの児童生徒がICTを活用しテストを受検。結果を踏まえ、正確な読み取りの能力を高め授業への改善を進めている。



◀機能強化のため国際線の増便が計画されている羽田空港（羽田空港フォトギャラリーから）

スポーツセンター



高橋 秀樹 議員

Q 冷房設備の整備を

A 令和4年から空調等の改修を行う

議員 今年の夏は暑いこともあり、スポーツセンターの冷房が機能しない状況にある。8月の第1競技場は10時で32度あった。冷房設備の整備をお願いしたい。緊急対応として、屋根に散水することは考えられないか。

市民生活部長 スポーツセンターの空調設備は、近年の猛暑の影響で十分な冷房ができていない。令和4年からスポーツセンターの大規模改修工事を予定しており、空調や照明、床等の改修を行う。

スポーツセンターの敷地内に喫煙所の設置を

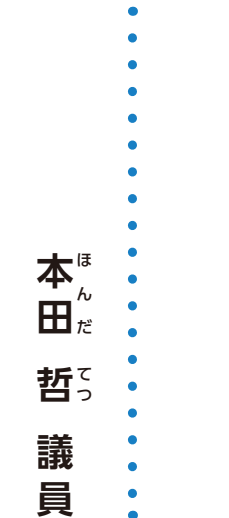
議員 喫煙者は男性で30%弱いるのに、喫煙所も整備しないで、禁煙を実施した。駐車場の喫煙所は遠く、雨の日は利用されない。ス



▲敷地内は全面禁煙とされている戸田市スポーツセンター

一般質問

高齢者福祉



本田 哲 議員

Q 難聴者への補聴器購入助成制度の創設を

A 課題を整理し必要性を判断したい

議員 戸田生活と健康を守る会から「難聴者のための補聴器助成制度の実施を求める要望書」が115筆の署名とともに市に提出された。難聴によるコミュニケーション能力の低下が、うつや認知症などの原因になっていると指摘され、WHOも「普通の会話が聞き取りづらい」という41デシベル以上の「中等度」からの早期利用を奨励していることから、高齢難聴者への補聴器購入助成制度の創設が必要と考える。市の見解を伺う。

の声を伺い、本事業の有効性や課題を整理する中で、補助制度の必要性を判断していきたい。

駅自転車駐車場利用料引き下げを

議員 定期利用者を増やすため、利用料を引き下げるべき。

市民生活部長 現時点で利用料金の引き下げを実施する予定はない。

議員 JRの土地賃借料を全て利用者負担させると判断はおかしい。市が責任を持つて公費で負担すべき範囲があると思う。受益者負担の再検証を要望する。

福祉部長 難聴が認知症の危険因子であることは認識しており、補聴器が認知症やうつ病などを予防する手段の一つであると考えているが、助成制度の創設に当たっては、実施自治体の状況や関係機関

難聴の程度	平均聴力レベル	聞き取りの状態
軽度難聴	25dB 以上—40dB 未満	小さな声や騒音下での会話の聞き間違いや聞き取り困難を自覚する。会議などでの聞き取り改善目的では、補聴器の適応となることもある。
中等度難聴	40dB 以上—70dB 未満	普通の大きさの声の会話の聞き間違いや聞き取り困難を自覚する。補聴器の良い適応となる。
高度難聴	70dB 以上—90dB 未満	非常に大きい声が補聴器を用いないと会話が聞こえない。しかし、聞こえても聞き取りには限界がある。
重度難聴	90dB 以上	補聴器でも、聞き取れないことが多い。人工内耳の装用が考慮される。



むとう えいこ 議員

Q 配偶者暴力相談支援センターの機能追加を

A 支援策を引き続き検討する

議員 DV被害者への制度利用案内について①現状は②職員研修を行い、相談窓口を周知するべき。

市民生活部長 ①関係各課で適切に対応。必要に応じて福祉保健センターに案内②毎年、職員に男女共同参画研修を実施。相談窓口の周知は、公共施設にポスターを掲示、ホームページや戸田市男女共同参画情報誌「つばさ」に掲載。

議員 行政手続きに必要な相談は。
市民生活部長 福祉保健センターでの相談の際、配偶者暴力相談支援センター「With You」をいたま」等を紹介し、そこで相談をした証明書が発行される。

議員 窓口が代わり、何度も被害を受けた状況を話すリスクを考えれば、戸田市のDV相談窓口に配偶者暴力相談支援センターの機能

高齢者の支援を

議員 厚労省は7月、高齢者世帯の収入は「年金のみ」が半数を超え、「生活が苦しい」と発表①介護保険料を引き下げるべき②エアコン設置の助成金給付を。

福祉部長 ①高齢者人口の増加で保険料を引き下げることは難しい②実施は困難。クールオアシスの設置等で熱中症予防に努める。



▲あいパルで開催された男女共同参画の視点で考えるDV防止イベント



土屋 英美子 議員

保養所

Q 「白田の湯」再編に向けての状況は

A 他自治体の情報収集を行っている

議員 「白田の湯」は昭和44年に開設し、平成5年に建て替えを行い、現在まで続いている市民の憩いの宿泊施設である。廃止を含め、民間施設の代替利用が検討されている。再編に向けての動きの状況はどうなっているのか。

市民生活部長

他自治体の類似事例や、現在の保養所の状況について情報収集を行っている。

議員

5年間の利用状況を見ても、利用者は1万人を超え、17室しかない保養所に1日平均28人が宿泊し、稼働率も7割を超えている。



▲戸田市保養所白田の湯（静岡県東伊豆町）

各種案内板の改修を

議員 「彩湖・道満グリーンパーク」内の植物・動物の生態系の案内板が劣化し、白く見えなくなっている。早急に改修すべき。外国語の案内も併記してはどうか。

環境経済部長 看板を管理する荒川上流河川事務所に伝える。

その他の質問

Q 高齢者のための買い者支援サービスガイドブック作成について、その後の進捗状況は。

A 宅配サービスを行っている店舗の情報収集している。



竹内 正明 議員

防犯対策強化

Q 防犯カメラ増設は計画的・効果的に

A 運用方針や手法等整理したい

議員 戸田市や近隣市で市民を不安にさせる犯罪が増加している。

8月には、ひったくり連続犯が逮捕されたとの新聞報道があったが、防犯カメラによる効果は。

市民生活部長

新聞報道によると、防犯カメラの画像が活用され犯人逮捕に貢献したものと考えられる。

議員

今年度から新たな防犯対策として、学校区を中心とした「見守り防犯カメラ」がスタートした。これまで本市で設置した防犯カメラには、それぞれの目的や意味があり総括が必要だ。その上で防犯カメラの増設や防犯対策の強化を

SNSによる教育相談の今後は

議員 8月からSNSによる教育相談が試験的にスタートした。こどもたちの悩みや不安を吸い上げるために大変重要な取り組みであると考え、平成29年9月に取り上げた。実施に感謝する。今後は。

教育部長

相談体制のより一層の充実に向け総合的に検証を進め、年度の実施について検討していく。

土屋 英美子 議員

林 冬彦 議員

帰宅困難者対応

Q 首都直下地震が発災した際の市の対応は

A 災害時用HPに切り替え情報発信

議員 今後30年以内の発災確率70%程度と言われる首都直下地震では、「むやみに動かないこと」が国の方針であり、発災直後3日間は移動できない恐れがある。市内在住従業員の約60%、市内在住就学者の約37%が市外に出ていることから「帰宅困難者対応」は市の重要課題だと考える。発災した際の市の対応は。

危機管理監

発災後、市ホームページを災害時用に切り替え、必要な情報を発信する。平時より戸田市ハザードブックを活用いただき、家族間で複数の安否確認方法や情報入手方法、家庭での備えなど、防災意識を高めてほしい。

教育部長

避難所機能を持つ学校は、保護者等に児童生徒を引き渡すまで何日かかっても必ず預かる。

避難所機能を持つ学校は、保護者等に児童生徒を引き渡すまで何日かかっても必ず預かる。



子ども青少年部長 幼稚園や保育園、学童保育室も、児童全員の保護者等への引き渡し完了するまで保護する体制となっている。

議員

残された課題もある。まず、避難所利用人数の試算を行い、避難場所、生活資材、水や食糧等の適正確保・備蓄を図る必要がある。また、体育館に併設される発電装置は照明やスマホ充電といった緊急対応のものであり、空調に対応できる発電力を持たないことから、避難所の暑さ対策も必要である。今後も進捗を確認する。

▲戸田市ハザードブック (QRコードから閲覧できます)

(<https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/121/kikikanri-hazard-book.html>) とだ議会だより No.206

認知症対策

Q 診断助成制度の創設を

A 効果的な早期発見・対応に努める

議員 認知症診断助成制度を創設してはどうか。

福祉部長

認知症の方やご家族を支援するため、早期から家庭訪問を行い相談に応じる認知症地域支援推進員を全ての地域包括支援センターに配置、また、医療及び介護の専門職で構成される認知症初期集中支援チームを市内2カ所に配置、病院受診やサービス利用、家族の介護負担軽減等の支援を行っている。認知症の精密検査は専門性が高く医療機関も限られていることなどから、先進地等の実績を確認し、効果的な認知症の早期発見・早期対応の対策に努める。

議員

ホームページに認知症情報ポータルサイトを開設しては。

認知症情報ポータルサイト開設を

議員

その他の質問

Q スポーツセンター第一競技場の当日利用の児童生徒料金を新たに設定できないか。

A 他市の事例も参考に、適切な料金設定や施設の運営方法等について検討する。



▲新曽地域包括支援センターが設置されている新曽南庁舎



三輪 なお子 議員

発達障害

Q 診断に係る医療機関での受診状況は

A 初診までの待機期間は3〜6カ月

議員 発達障害のある子供の診断に係る医療機関での受診状況は。

福祉部長 市内2カ所を含む近隣医療機関の初診までの待機期間は市民医療センターで3カ月、その他、最も長くて6カ月、紹介状も予約も必要ない医療機関もある。

議員 就学前の幼児に対する早期支援の取り組みは。

福祉部長 発達障害の可能性が高いと判断した場合、母子保健コーナーや地区担当保健師等が発達相談を行い、お子さんの特徴に応じた関わり方のアドバイス

▼ペアレントトレーニングの様子



を行う。また、専門医の紹介や就学相談につなげている。

議員 保育所における行動観察は早期発見、早期支援につながる。現況を伺う。

こども青少年部長 観察の上で、心配がある場合、児童発達支援センター「あすなろ学園」の巡回相談を依頼し、専門的立場からアドバイスを受ける。

議員 市内小学校で行われている「ペアレントトレーニング」の実施状況について伺う。

教育部長 ペアレントトレーニングに関する研修を受けた教師が講師となり、「子育て学習会」を市内7校で実施。教師の指導力向上につながり、保護者からは、多数の感謝の声が届いている。今後もプログラムの拡充をしていく。



矢澤 青河 議員

多剤・残薬対策

Q 治療中の高齢者の約6割が多剤服用。対策は

A 国保では相談や指導を実施

議員 治療中の高齢者の約6割が6種以上の多剤服用をしている実態を国が報告。残薬は年間約475億円とも言われ、副作用や医療費の無駄、症状悪化につながる。他市では節薬バッグ等の多剤や残薬解消を推進。戸田市の対策は。

福祉部長 国保では、重複服薬の方に相談や指導を実施。県広域連合や市薬剤師会では、注意喚起やかかりつけ薬局、お薬手帳を推進。

議員 多剤・残薬問題はまだまだ知られていない。さらなる周知を。
福祉部長 指導に加え、「こくほのしおり」掲載など適正服薬を推進。

シニア等へのスマホ支援を

議員 シニアのスマホ利用率は6割を超え、電子政府化や電子決済、ネット詐欺等、高齢者等の情報格差が拡大。民間と連携したスマホ教室など対策を。

総務部長 公民連携の活用も一つの方法。市民のニーズ等を確認し、必要性があれば実施可能。

LINEによる自治体行政を

議員 国内ユーザー8千万のLINEは本年5月に自治体向け公式アカウントの無償提供開始。ホームページ、SNS、tocoぷり等の情報集約化や相談窓口等さまざまな活用が期待される。検討を。
総務部長 行政の活用を研究する。

一般質問

特養改修

Q 費用、工期の圧縮を

A 方向性を今年度中を目途に決定

議員 特別養護老人ホーム「戸田・ほほえみの郷」は築22年で大規模修繕を控え、15億から20億円以上の費用が見込まれる。「居ながら修繕」を軸に検討しているが、騒音・振動・ほこり、安全性など入居者への悪影響が心配。代替施設を利用すれば費用・工期も圧縮される。また、現施設は特殊な形状の5階建てで問題が多く、死角が多く事故対応が困難、食堂までの導線がとりづらく移動に時間がかかる、天井が高く東西南北に広く冷暖房効率が悪い、通常の施設よりも人件費がかかる等、指摘される。建て替え費用は約20億円の想定、修繕と大差ない。これらの方法も検討を。

福祉部長 修繕の方向性を、今年度中を目途に決定する。

酒井 郁郎 議員



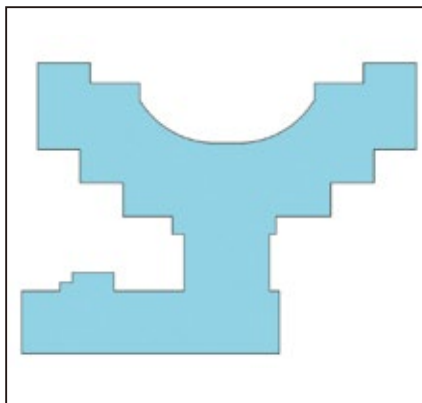
小中学校のプール授業改善を

議員 学校プールを廃止し外部の公共プール、民間プールを活用することで大幅なコスト削減とプール授業の改善を両立する自治体が増えている。戸田市でも検討を。

教育部長 実施できるか、さまざまな課題について検討していく。

その他の質問

Q 小中学校のタブレット端末一人一台体制実現と有効活用を。総合的に勘案し進めていく。



▲上から見た「戸田・ほほえみの郷」の形状

9月より政務活動費の領収書を公開!

戸田市議会では、より開かれた議会を目指し、議会改革特別委員会を中心に議論を重ねています。その1つの成果として、令和元年9月より、政務活動費に係る各会派の収支報告書と領収書を、議会ホームページで公開することになりました。

政務活動費については、各会派の費目ごとの支出状況を公開するなど、これまでも透明性の確保に努めてきたところですが、その取り組みをさらに進めるため、平成29年より議論を開始し、今回の公開に至ったものです。

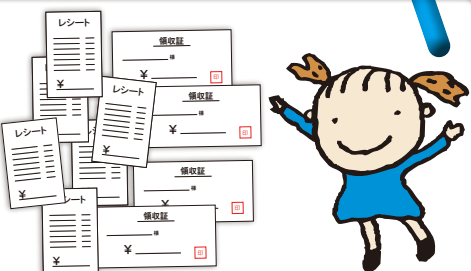
現在、公開しているのは、平成30年度分の収支報告書と領収書になります。今後は、毎年9月頃に前年度分の収支報告書と領収書を公開していく予定です。今後も、開かれた議会を目指して、取り組みを進めていきます。



QRコードから閲覧できます▶

戸田市議会では、地方自治法の規定ならびに戸田市議会政務活動費の交付に関する条例等に基づき、戸田市議会議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として政務活動費を交付しています。

なお、交付額は、各会派に対し、月額4万円に当該会派の所属議員の数を乗じて得た額となります。



政務活動費とは

議会日誌

7月

- 8日 長野県上田市議会視察来庁
- 8日～9日 まちづくり・交通対策特別委員会視察
- 9日 議会広報委員会
- 16日 総務委員会／議会改革特別委員会
- 17日 特別委員会（まちづくり・交通対策／議会広報）／
常任委員会（文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 18日 県議長会役員会
- 22日 広島県府中町議会視察来庁
- 23日 三重県鈴鹿市議会視察来庁
- 24日 広島県東広島市議会視察来庁／
市議会モニターとの意見交換会
- 29日 三重県名張市議会視察来庁

8月

- 1日 沖縄県うるま市議会視察来庁／
戸田競艇企業団議会議会運営委員会
- 2日 北海道石狩市議会視察来庁／
蕨戸田衛生センター組合議会議会運営委員会
- 5日 福岡県嘉麻市議会視察来庁
- 7日 愛知県蒲郡市議会視察来庁
- 8日 静岡県焼津市議会視察来庁
特別委員会（まちづくり・交通対策／議会改革）／
蕨戸田衛生センター組合議会
- 9日 戸田競艇企業団議会
- 19日 議会運営委員会／
常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 20日～21日 戸田競艇企業団議会議会運営委員会視察
- 22日 **開封市友好代表団の議場見学**
- 26日 本会議（議案説明）／総務委員会／議会運営委員会
- 28日 蕨戸田衛生センター組合議会常任委員会

9月

- 3日 本会議（議案質疑）／委員長会議／議会広報委員会
- 4日 本会議（一般質問）
- 5日 本会議（一般質問）／議会運営委員会
- 6日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）／議会運営委員会
- 10日～11日 常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／
市民生活）
- 12日 議会運営委員会／本会議（議案の撤回）／
常任委員会（総務／健康福祉／市民生活）
- 13日 常任委員会（文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 17日 全員協議会／特別委員会（まちづくり・交通対策／
議会改革／議会広報）／議会運営委員会
- 26日 議員互助会役員会／
本会議（委員長報告、討論、採決）／議会広報委員会
- 28日～29日 第28回全国市町村交流レガッタ日田大会
- 30日 健康福祉委員会市内視察

議会日誌から Pick up!

市議会モニターとの意見交換会

市議会モニターの4人（現員5人）と、議長・副議長・議会運営委員長・議会改革特別委員長・議会広報委員長による意見交換会を開催しました。傍聴席を含む議場の改善点や予算審査の在り方など、多岐にわたる内容について、活発に意見交換をしました。



開封市友好代表団の議場見学

本市の友好都市である中国・開封市から、高建軍市長を団長とする開封市友好代表団の方々が来訪され、表敬訪問の後、議場を見学されました。正副議長など、表敬訪問に出席した議員が議場を案内し、両市の友好をさらに深めました。



知っ!tocoクイズ当選者

6月定例会号「知っ!tocoクイズ (No.8)」の正解は、問1「議会運営」、問2「18」でした。

正解者 11 人の中から抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

- ・坪井雅彦さん
- ・小原誠さん
- ・酒井めぐみさん
- ・清水裕子さん
- ・若尾絵里子さん

おめでとうございます。



委員会視察レポート

閉会中に実施した視察について、8月26日の本会議冒頭に委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

まちづくり・交通対策特別委員会

自動運転技術の活用に向けた他事業体との連携を検討

【兵庫県神戸市・滋賀県大津市】

神戸市は、民間事業者主体および神戸市主体の事業体を立ち上げ、2つの事業体が連携して「まちなか自動運転移動サービス事業」を実施していました。既に数回実証実験を行っており、住民のニーズがある一方、コストや技術面の課題が挙げられていました。

大津市は、地元バス会社、大学教授、警察、国とともに、産官学が連携するプロジェクトを立ち上げており、自動運転実証実験を行った結果、乗客ニーズに対応した路線の選定、収支採算性の向上、最新技術を取り入れた車両の選定を課題として挙げられていました。

【検証の結果】

両市を含む他自治体の動向や、自動運転技術の進展を注視するとともに、本市での活用の方向性を明確にし、他事業体との連携を検討しながら調査および研究を進めていきたい。



7月8日 神戸市役所にて

第28回

全国市町村交流レガッタ～日田大会 議員クルーが銀メダル獲得!

9月28日、29日の2日間にわたり、三隈川特設会場（大分県日田市）において、全国市町村交流レガッタ日田大会が開催され、多くの市民クルーが参加する中、戸田市議会は、議会議員の部に「モクセイ」、議会議員シニアの部（漕手の合計年齢が240歳以上）に「サクラソウ」が出場しました。



▲銀メダルを獲得した「モクセイ」
（左から、三輪、遠藤、浅生、矢澤、佐藤）



▲レース前の様子。健闘を誓いました!

「サクラソウ」は残念ながら敗退しましたが、「モクセイ」は決勝戦に進出し、見事2位で銀メダルを獲得しました。なお、戸田市は、「男女総合優勝（会長杯）」と「女子総合優勝（鎧塚杯）」を、ともに初めて獲得。日頃の練習の成果を十分に発揮し、最高の結果を残すことができました。

市議会モニター募集中!

本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧ください、意見の提出などをしていただきます。



【応募資格】 次の①②の要件を満たしている方

- ①18歳以上の市内在住・在勤・在学者（公務員は除く）
- ②議会の仕組みとその運営、市政や地域社会の発展に関心のある方

【募集人数】 15人

【任 期】 令和2年2月6日から1年間
※報酬なし（図書カード進呈）

【募集期間】 令和元年10月15日（火）
～令和2年1月20日（月）

【申し込み】

「応募票」に住所、氏名、年齢、性別、応募理由等を記入して、議会事務局へ直接持参、郵送、FAX、電子メールで応募してください。応募票は議会事務局で配布しています。ホームページからダウンロードもできます。

※議会事務局の住所、FAX、電子メール、ホームページは、このページの欄外をご覧ください。

【選考方法】

書類選考の上、決定し、結果は応募者全員へ通知します。



▲委嘱状交付の様子。ここから活動が始まります！

題字を書ってくれた人

とだ



とだを書くのに気が付けたところは「と」のまるみです。

戸田の自まは、学校から一番近い自然豊かな場所、道満。「自然があつてきれいだな。」という気持ちを込めました。

美谷本小学校 6年 やなぎ 柳 ゆいさん

12月定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

- 11月22日（金） 本会議（開会、議案説明）
 - 29日（金） 本会議（質疑、請願の提出、委員会付託）
 - 12月2日（月）
 - 3日（火）
 - 4日（水）
 - 5日（木）
 - 6日（金） 常任委員会
 - 9日（月） 特別委員会
 - 16日（月） 本会議（委員長報告、討論・採決、閉会）
- ※開議時間は、いずれも午前10時です。

気軽に市役所へ傍聴においでください。

台風15号、19号

9月に発生した台風15号、また、10月に発生した台風19号で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災者の皆さまにお見舞いを申し上げます。

埼玉県戸田市議会



この議会だよりが皆さまのお手元に届くころには、プロ野球の日本シリーズも終わり、日本一が決定していると思います。令和元年度の優勝球団はどの球団になるのか？ドフト会議では、どの球団が誰を指名するのか？野球ファンとしては楽しみである。（E）

毎年恒例の全国市町村交流レガッタ大会に議員クルーとして出場。3回目の参加となる本大会で、所属の議会モクセイチームが見事準優勝し「銀木犀」に昇格しました！さらに市民クルーを含めた戸田市が総合優勝！来年も優勝目指して頑張ります（青）

台風15号、19号、猛烈な風雨により、河川の氾濫や停電が発生して市民生活に甚大な被害を及ぼすなど、改めて自然災害の恐ろしさを痛感しました。被害を受けられた皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。（筆）

ほっと 秋ですが、台風の影響でマラソン大会が中止。私のエリアは市民体育祭も中止。皆さんが楽しみにしていたので本当に残念です。しかし市内中学校18校の代表が集う市P連のソフトバレーボール大会が控えております。みんな楽しんで交流したいです。（竹）



大好きなスポーツの秋ですが、台風の影響でマラソン大会が中止。私のエリアは市民体育祭も中止。皆さんが楽しみにしていたので本当に残念です。しかし市内中学校18校の代表が集う市P連のソフトバレーボール大会が控えております。みんな楽しんで交流したいです。（竹）